

アダム=スミス

2015 年追試

問 6 次のア～ウは，社会の仕組みにおいて重視される公正さについて考察を行った様々な思想家についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 

6
---

ア ベンサムは、「最大幸福」をもたらすことを行為の道德原理としたが，幸福を分配する際には，各人を一人として数え，等しく分配を受けられる格差のない社会を構想した。

イ アダム・スミスは，利己心から発する自由な利益追求を容認するが，それは「公平な観察者」の共感が得られる範囲内でなければならないとし，利己心に基づく行動に制限を設けた。

ウ センは，各人が自分の能力や境遇について知らないという「自然状態」を想定し，そのうえで，その状態を克服する思考実験を通じて，正義の原理を考案した。

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	6	⑥	3

2013 年追試

問 3 下線部 c に関して，アダム・スミスの思想の内容の記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

32
----

- ① 財の分配において各人を等しく一人として数える平等の原則が，道徳の原理であると同時に立法や行政を指導する理念となる。
- ② 道徳の原理となるのは共感であり，自己利益を追求する行為は，公平な第三者の視点から共感が得られる範囲内で是認される。
- ③ ある知識が真理であるか否かは，その知識に基づいて行動した場合に有益な結果が得られるか否かによって決定される。
- ④ 快樂には，人間らしい能力を發揮するとき感じられる高級な快樂と，動物的で低級な快樂とがあり，人間は高級な快樂を求めることができる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	32	②	3

2010 年本試

問 1 文章中の **31** に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。 **31**

F : 私の住む F 国では、個人の自由が何よりも大切です。護身用に銃やナイフを持つのも個人の自由。経済活動も、規制が少ないから自由な取引が活発に行われています。『国富論（諸国民の富）』を書いた **31** 流の「小さな政府」の発想で、医療も福祉もすべて民間任せです。

- ① アダム・スミス      ② ベンサム      ③ オーウェン      ④ マルクス

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 1	31	①	2

2008 年本試

問 3 道徳感情論の提唱者の一人としてアダム・スミスがいる。アダム・スミスの思想の記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 自然状態における善良な人間は，自己保存を求める自己愛と他人の不幸を憐れむ同情心とを具えていた。
- ② 共感という道徳的な感情が，利己心にもとづく各人の行動を内面から規制して，私益と公益との調和が図られる。
- ③ 純粋な愛としての他者への同情によって，現象の根底にある生への意志が弱まっていけば，苦悩から解脱できる。
- ④ 他者の気持ちを表情などから思いやる共感が，心理的な発達の基礎になって，友情や恋愛などの人間関係が生まれる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	25	②	3



2004 年本試

問 5 様々な思想家が自由主義社会を理論的に擁護してきた。アダム・スミスの自由主義理論の記述として最も適当なものを、次の①～⑦のうちから一つ選べ。

16

- ① 野生生物の世界で、劣弱な個体が淘汰されることによって種の繁栄が維持されるように、人間社会も、自由な競争と個々人の自助的努力に委ねられることによって進歩する。救貧政策は、この進歩を遅らせるだけである。
- ② 人民の権利には、民衆が国家から勝ちとる権利と上から民衆に恵み与えられる権利とがある。為政者が権力を振りかざし、自由権を民衆に返そうとしないから、民衆が動乱を起こして権利を回復しようとするのである。
- ③ 社会契約において各人は、自らの身体とあらゆる力を一般意志の指揮に委ねることによって、自然的自由と引き換えに社会的自由を獲得するだけでなく、人間を自己の真の主人へと高める精神的自由を得ることができる。
- ④ 人々が社会の利益を増大させようと意図する場合よりも、自己利益を追求する方が、より効果的に社会の利益を増大させることがしばしばある。それが実現するためには、完全な自由競争が行われなければならない。
- ⑤ 自己の身体、智慧、情欲、至誠、意思の五つを自在に働かせることは、個人の独立にとり不可欠である。これらを自在に行使しても、他者の同様の自由を妨害しないかぎり非難されることはなく、各人の権利の範囲内に属する。
- ⑥ 生命、自由、身体および労働は各人の所有物であり、このことにつき各人は他者に何も負っていないから、自らの労働の所産も本人の所有物になる。国家の最高権力といえども、本人の同意なしには誰からも所有物を奪えない。
- ⑦ 秩序ある社会においては、各人は、最も広汎な基本的諸自由への平等な権利をもたなければならない。社会経済的な利益が不平等に分配される場合にも、社会で最も不遇な人々の便益が可能なかぎり考慮される必要がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	16	④	2



2002 年本試

問 4 社会契約説は国家や社会についての代表的な理論の一つであるが、西洋ではそのほかにも様々な国家論、社会論が説かれてきた。次のア～ウの思想を唱えた人物として最も適当なものを、下の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。アについては  に、イについては  に、ウについては  に答えよ。

ア 家族と市民社会を総合し、欲望の体系である市民社会を克服するのが国家であり、そこにおいて共同体の普遍性と個人の個別性が保持される。

イ 理想的な国家を実現するためには、哲学者が統治者になるか、あるいは統治者が哲学者になる必要がある。

ウ 個人が自己の利益を自由に追求することで社会全体が豊かになるのだから、国家の重要な役割は個人が自由に獲得した財産を保護することにある。

- ① プラトン      ② アリストテレス      ③ ロック  
④ ルソー      ⑤ アダム・スミス      ⑥ カント  
⑦ ヘーゲル      ⑧ マルクス

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	15	⑦	2
第 2 問	問 4	16	①	2
第 2 問	問 4	17	⑤	2

2000 年追試

問 2 西洋思想史ではこれまで、利己心や自己中心性をどう扱い、どう位置づけるかということが、思想の特徴を決める大きな要因であることが多かった。次のそれぞれの思想を唱えた人物として最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つずつ選べ。アについては  に、イについては  に、ウについては  に答えよ。

ア 各人が利己心に促されて、自分の利益だけを追求するような仕方で経済的自由競争を行えば、互いの <sup>あつれき</sup>軋轢や反目が生まれて経済活動が停滞することはなく、むしろ「見えざる手」に導かれ、社会全体の富は増大する。

イ 自然状態では人間は、自他を比べてその優劣を問題にする、などということとはなかったが、しかし、財産の私有が始まって貧富の差が生まれ、社会に不平等がはびこると、他人に優越したいという気持ちが顕著になった。

ウ 利他心の <sup>かんよう</sup>涵養を命じるキリスト教道徳とは、その実、強者に対する弱者のルサンチマン(<sup>えんこん</sup>怨恨)から生じた「奴隷道徳」であるが、それに対して、自分自身のあり方を積極的に肯定する道徳が「貴族道徳」である。

- ① ニーチェ                      ② ロック                      ③ アダム・スミス  
④ ケインズ                      ⑤ サルトル                      ⑥ ルソー  
⑦ マキアヴェリ                      ⑧ ヒューム

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	16	③	2
第 3 問	問 2	17	⑥	2
第 3 問	問 2	18	①	2